

認定看護管理者教育課程

サードレベル

令和2年度募集要項

令和2年度版

公益社団法人香川県看護協会

公益社団法人 香川県看護協会 認定看護管理者教育課程サードレベル
令和2年度 募集要項

1. 概要

公益社団法人香川県看護協会は、認定看護管理者教育課程サードレベルを2014年度から4年ごとに開講している。

1) 教育目的

多様なヘルスケアニーズをもつ個人、家族、地域住民及び社会に対して、質の高い組織的看護サービスを提供するために必要な知識・技術・態度を習得する。

2) 到達目標

- (1) 保健医療福祉の政策動向を理解し、それらが看護管理に与える影響を考えることができる。
- (2) 社会が求めるヘルスケアサービスを提供するために、看護現場の現状を分析し、データ化して提示することができる。
- (3) 経営管理の視点に立ったマネジメントが展開できる。

3) 教育内容および時間数

教 科 目	時 間 数
ヘルスケアシステム論 III	30
組織管理論 III	30
人材管理 III	15
資源管理 III	30
質管理 III	30
統合演習 III	45
合 計	180

(公益社団法人日本看護協会認定看護管理者カリキュラム基準【サードレベル】より)

上記の内容に加え、その他（ガイダンス等）として7時間を設定し、サードレベル教育課程全体の総時間数は187時間とする。

2. 修了要件

認定看護管理者カリキュラム基準に定める全教科の修得をもって認定看護管理者教育課程の修了とする。教科目の修得とは、以下の各項目を満たした場合をいう。

1) 出席時間数

各教科目において所定時間の5分の4以上の出席時間数がある。

2) 教科目の評定結果

各教科目レポートの評定を「A (80点以上)」「B (70～79点)」「C (60～69点)」「D (59点以下)」とし、すべての教科目において「C (60～69点)」以上を合格、「D (59点以下)」は不合格とする。

3) 再評定

教科目評定が不合格の場合は、1回を限度にレポートを提出し再評定を受けることができる。

3. 応募方法

研修名	令和2年度香川県看護協会認定看護管理者教育課程サードレベル					
応募期間	令和2年3月 2日(月)～ 3月19日(木) ※応募期間内必着					
開催期間	令和2年6月23日(火)～ 12月4日(金)					
定員	30名					
受講要件	以下の受講要件を満たしている者 ①日本国の看護師免許を有する者 ②看護師免許を取得後、実務経験が通算5年以上ある者 ③認定看護管理者教育課程セカンドレベルを修了している者 または看護部長相当の職位にある者、もしくは副看護部長相当の職位に1年以上就いている者					
提出書類	提出書類の様式1～3：提出必須 提出書類の様式4・5：上記受講要件③に応じ、該当するいずれかを提出 (提出書類一覧表)					
	提出書類 受講要件	様式1 受講申込書	様式2 勤務証明書	様式3 小論文	様式4 セカンド レベル修了 証の写し 貼付用紙	様式5 職位証明書
	認定看護管理者教育課程セカンドレベルを修了している者	○	○	○	○	×
	看護部長相当の職位にある者、もしくは副看護部長相当の職位に1年以上就いている者	○	○	○	×	○
	<p>* 小論文【様式3】 テーマ：「保健医療福祉の動向をふまえ、自施設が抱える課題と対策について、トップマネージャーの視点で述べなさい。」 文字数：1400字以内 記載方法：ホームページ上の募集要項【様式3】を参照</p> <p>* 様式2・様式5は、2020年3月末時点でご記入ください</p> <p>* 受理した応募書類は返却しない</p>					
応募者 選考方法	①一次審査：提出書類による審査 ②二次審査：小論文による審査（小論文の評価基準は別紙参照）					
選考結果通知	選考結果は、令和2年5月中旬頃に文書で通知する					
受講料等	①受講料（前納） 会員：258,500円 非会員：387,200円 ②修了審査料（後納）11,000円 * 会員とは日本看護協会会員である * 駐車料金は別途必要である（会員：300円/日 非会員：600円/日） * 受講キャンセルしても受講料・駐車料金は、原則として返金しない					
送付先	〒769-0102 香川県高松市国分寺町国分152-4 公益社団法人香川県看護協会 認定看護管理者教育担当係					

※提出書類は、様式をコピーしてご使用ください。

【個人情報 の 取扱い について】

公募にあたって提出された個人情報は「公益社団法人 香川県看護協会個人情報管理規程」にそって取扱い、本研修の目的以外には使用しません。

〈サードレベル 小論文評価基準〉

内 容	
論 旨 の 一貫性	・内容を象徴したテーマを表現している
	・自部署の「概要・問題事象・事象の解釈・課題抽出・結論」で明確に構成されている
	・自部署の「概要・問題事象・事象の解釈・課題抽出・結論」の筋道が明解である
記述構成	・パラグラフ（段落）構成が適切である
	・接続詞を適切に使ってパラグラフ（段落）を展開している
	・誤字脱字がなく簡潔明瞭な日本語表現で読みやすい
内 容	・リーダーの視点で自部署の問題を分析、把握している
	・自分が目指したい施設の看護が主張されている
	・問題事象の記述内容が具体的で分かりやすい
	・「部署の問題と課題」「自分個人の問題と課題」を明確に分けて考えられている